

平成31年度

北海道教育大学 札幌校 教員養成課程 編入学試験問題

(言語・社会教育専攻 国語教育分野)

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまでは、問題紙を開いてはいけません。
- 2 問題冊子は、表紙を除いて6枚あります。試験終了後、すべて回収します。
- 3 下書き用紙は、1枚あります。試験終了後、回収します。
- 4 印刷不鮮明あるいは用紙の汚れ等により、交換を必要とする場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 5 問題は、問題一から問題六まであります。すべての問題に解答すること。
- 6 解答は、問題紙の指定された解答欄に、縦書きで記入すること。
- 7 字数の指定がある場合は、句読点も一字分とします。
- 8 受験番号を、指定の欄のすべてに記入すること。

問題三 次の文章は子国木田独歩が窪田空穂に宛てた書簡の一節です。これを読んで、後の問いに答えなさい。なお、この時期独歩は独歩社という出版社を経営していました。窪田はその社員でした。この書簡は窪田が仕事の悩みを病気療養中の独歩に手紙で相談したことへの返信です。(合計100点)

兎も角貴兄で出来ぬものは何人にも出来ぬものに候、人の能力には(小生従来の経験に依れば)さまでの等差もなく又適不適もなきものと存候。

作り得た丈けのものにて満足する人と、作りても作りても不満足に思う人と、又た満足はせざれど時と場合にてあきらめ得る人とあきらめ得ぬ人と。かかる種類は人の性格の上これあり、これを以て能不能は申されず候、小生などは、あきらめのよき部類に偏する人かと存候、若し人が自分の為す事につき適とか不適とか、能とか不能とか一々詮議して居た日には、天下自分に最も適する事をめつける中に一生の半ば没了するかと存候。適とか不適とか、能とか不能とか言う事は第三者の批評にまかするの外はなく、先づ以て自分は余り自分の事を考えぬのが幸福かと存候。(中略)小生は商人なりや、本屋さんなりやと小生は未だ嘗て考えた事もなく、又小生は果して詩

人として如何なども、余り孝えず候、天は社会を見ず、只だ人を作れり、我々は社会状態にあてはめて自分を律するの義務なし。我々は出来る丈け高く生活する事をこそ思え、為すべき事の種類の自己に適不適などは、病青年の煩悶のみ、

(中略)

思え、僕は本屋たるの義務なき也、本屋をして貰わねばならぬ約束もなきなり、只た暮し向き本屋として成功する事はお互の米を安楽に食し得る方法なる事を思うのみ、又た已にこれに当らば全力の能を発する事が愉快にてあるのみ。

ボンヤリして居給えボンヤリは我々の適業なり、その内小生帰京、トクト御相談仕る可く候 暴言多罪

(『国木田独歩全集 第5巻』―学習研究社―による。本文は読みやすいように改変した。)

問一 国木田独歩に関連した以下の①～④について答えなさい。(各5点×4問、合計20点)

- ① 国木田独歩の代表的な作品を一つ、漢字で書きなさい。
- ② 国木田独歩と同時期に活躍した作家に島崎藤村がいます。島崎藤村の作品を一つ、漢字で書きなさい。
- ③ 島崎藤村などが中心となった文学者のグループをなんと呼ぶか書きなさい。
- ④ 同時期に軍医としても活躍した文学者の氏名を一人だけ漢字で書きなさい。

問題四 次のA～Cは、小倉百人一首の和歌です。これを読んで、後の問いに答えなさい。(合計50点)

- A 月見れば千々に物こそ悲しけれわが身ひとつの秋にはあらねど
- B 朝ぼらけ有明の月と見るまでに吉野の里に降れる白雪
- C 立ち別れいなばの山の峰に生ふるまつとし聞かば今帰り来む

問一 Aの和歌を現代語に訳しなさい。(10点)

【解答欄】

問二 Aの和歌の「月」とBの和歌の「月」の取り上げ方の違いを説明しなさい。(10点)

【解答欄】

問三 Cの和歌に使われている修辞法を、すべて説明しなさい。(10点)

【解答欄】

問四 Bの傍線部「降れる」、Cの傍線部「帰り来む」について、文法的に説明しなさい。(10点)

【解答欄】

問五 小倉百人一首について、文学史の観点から説明しなさい。(10点)

【解答欄】

問題五 次の漢詩は、李白の「早発白帝城(早に白帝城を発す)」です。これを読んで、後の問いに答えなさい。(合計35点)

朝 辞 白 帝 彩 雲 間
千 里 江 陵 一 日 口
兩 岸 猿 声 啼 不 住
輕 舟 已 過 万 重 山

問一 この詩の形式を何と云うか、漢字で書きなさい。(5点)

【解答欄】

問二 起句を書き下し文で書きなさい。また、口語訳しなさい。特に「彩雲」の意味を必ず書くこと。(10点)

【解答欄】

(書き下し文)

(口語訳)

問三 承句の口に入る適切な漢字を、次のア～カの中から一つ選び、記号で答えなさい。また、それを選んだ理由を説明しなさい。(10点)

ア 帰 イ 返 ウ 還 エ 行 オ 往 カ 征

【解答欄】

(記号)

(理由)

問四 結句は「舟」のどのような様子を描いているか、説明しなさい。(10点)

【解答欄】

問題六 次の漢文に送り仮名と返り点を付けなさい。また、書き下し文を、すべて平仮名で書きなさい。(15点)

当 枕 石 漱 流。

【解答欄】

(送り仮名・返り点) 当 枕 石 漱 流 。

(書き下し文)